



あびら地域公共交通便り

平成29年2月3日発行

第3号

～安平町地域公共交通網形成計画（素案）の概要をお知らせし、皆様のご意見を募集します～

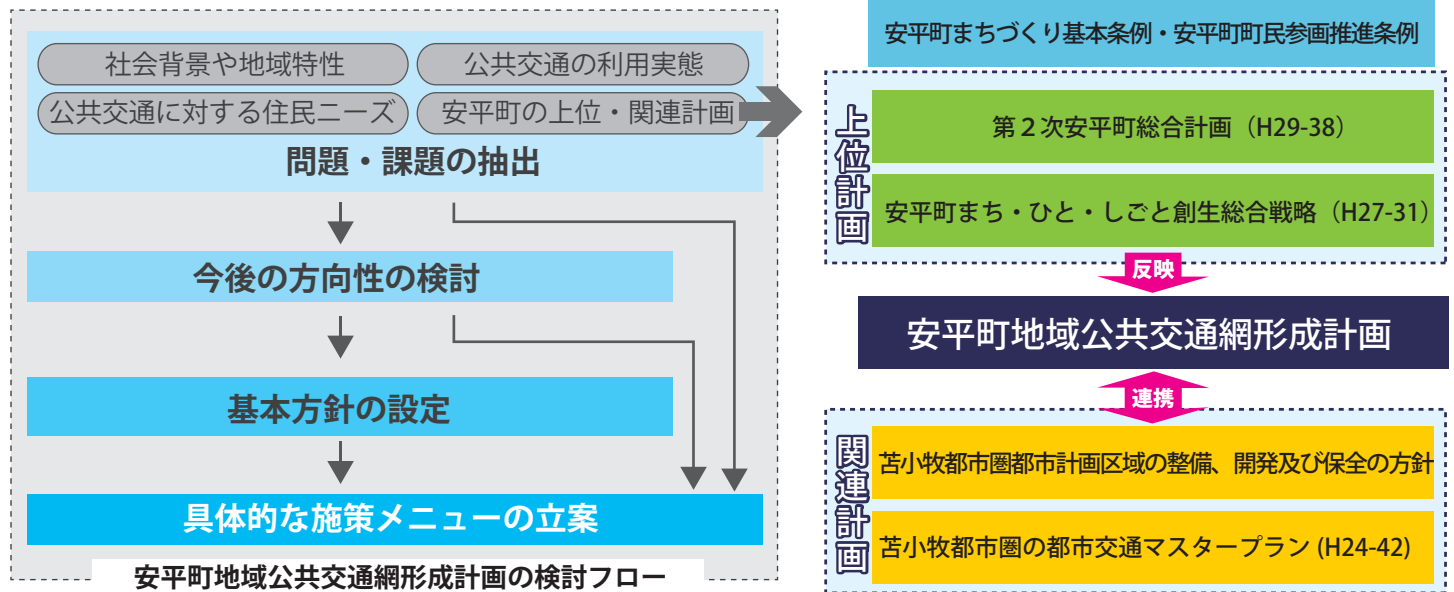
【編集・発行】安平町企画財政課企画グループ



はじめに

安平町では まちにとって望ましい公共交通網の姿を明らかにする基本計画として、「安平町地域公共交通網形成計画」の策定作業を進めています。この間、町の将来人口推計や公共交通の特性のほか、鉄道やバスの利用実態調査、地区別の意見交換会や住民アンケートをはじめとした各種調査結果などを基に検討を重ねてきました。

これらの結果を踏まえ、既存の公共交通が有効に機能し、地域住民の足を支えるだけでなく、他のまちづくり施策と交通施策とが一体となった計画として、来年度以降においてさらに検討・推進を図る施策メニューを盛り込んだ計画の素案を作成しましたので、その概要をお知らせします。



安平町の地域特性

日本全体が人口減少局面に入っているなか、安平町も経年的に少子高齢化が進行している状況にあります。人口減少対策により緩和を図っていきませんが、今後もその傾向が続くことが予想されており、公共交通でしか移動できない町民の増加が想定されます。

安平町内の公共交通は、以下に示すとおり小さな町でありながら多岐にわたっている一方、利用者の少ない便や経路が重複している区間などがあり、既存の公共交通を活かして、交通事業者の共存や費用負担とのバランスも加味した最適なサービスの検討が必要です。

無料巡回バスが交通事業者の経営を圧迫し、撤退問題に発展した過去があります。鉄道・民間バス・ハイヤーが撤退して困らないよう、共存できる解決策を見出していきましょう

昔の無料巡回バスを復活して！

デマンドバスの運賃が高い！



事業者等	路線、運行区間等
北海道旅客鉄道株式会社	室蘭本線、石勝線
あつまバス	苫小牧線、千歳線、遠浅線、安平循環線、追分線、沼ノ端線
デマンドバス	町内全域（早来エリア・追分エリア）
せいこドームバス	・せいこドーム⇄安平・追分方面 ・せいこドーム⇄遠浅・北町方面 ・追分高校通学バス（対象者限定）
早来ハイヤー 追分ハイヤー	町内等
その他（対象者限定）	・スクールバス、通園バス ・福祉バス（団体行事等）

安平町地域公共交通の現状と問題

上位・関連計画及び安平町の地域特性に加え、鉄道やバスの利用実態調査、地区別の意見交換会、住民アンケート等の結果から、その背景とともに4つに分類し、現状と問題を整理しました。

背景・考え方		現状・問題点	
社会背景	公共交通を取り巻く環境	公共交通に対する認知度が低い ⇒ 存在は知っていても詳細を知らないために活用出来ない	
		2町合併による早来地区、追分地区を中心とする合併後の市街地形成 少子・高齢化の進展に伴う公共交通利用者の減少と維持費用負担 人口減少に伴う少年団・部活動の合同化 新たな地域資源（道の駅）が立地予定 全国的な高齢者による運転の増加 公共交通に対する重要度が高く、満足度が低い	
安平町の交通特性	町内の交通	既存路線の効果的な運行	せいこドーム利用者への無料送迎バスの運行 あつまバスによる町内循環線を運行しているが利用者が少ない 利用者が少ない路線の存在 平成24年度まで運行していた無料循環バスの復活に対する根強いニーズ ⇒ 一方でハイヤーの撤退問題や公共交通としての位置付けの再認識
		デマンド交通の改善の必要性	デマンド交通による空白地域のない公共交通サービスの提供への取組み（旧循環線の代替え） デマンドバスとJR等の他の交通手段との接続がない デマンドバスの土日の運行がない デマンドバス利用手続きの負担（予約や取り消し等） デマンドバスの既存の乗降場所や利用者が少ない便の見直し ハイヤー事業との棲み分けの配慮 待合拠点の位置付けがない
	町外への交通	近隣市町村との接続性	安平町外へ買い物・通院さらに通勤・通学のためにJRや都市間バスを利用する町民の存在 運転者自身の高齢化及び自動車による移動が困難となった場合のJRや都市間バスの利用ニーズがある 南千歳への接続便が少ない JR北海道の運営方針の変化

安平町地域公共交通の課題とその解決に向けた方向性

「公共交通を取り巻く環境」、「既存路線の効果的な運行」、「デマンド交通の改善の必要性」「近隣市町村との接続性」の4つのカテゴリーにて整理した問題・課題について、それぞれ解決へ向けた具体的な方向性を検討しました。

具体的な方向性	実現に向けた課題
時代背景を踏まえ、誰もが利用しやすい公共交通のあり方を構築	現状の公共交通に関するきめ細かい情報提供 新たな資源を結び、町民や町外の人々の往来や回遊と交流を促す交通体系の整備 投資効果を最大化し、町民の納得性の高い効果的な公共交通体系の構築 時代背景（少子化等）に即した交通体系の整理 全国的な高齢者による事故の増加への対応 ⇒ “私たちの公共交通” 意識の醸成 交通弱者に対する目的に合わせた適切な公共交通サービスの確保 町民の意見や生活行動に基づいた公共交通網の構築 公共交通利用促進に向けた取組み
公共交通のネットワークを強化し、移動利便性の向上を図る	目的外利用が出来ないせいこドームバスに対する、多目的利用への見直し 町民移動に合っていない運行ダイヤやルートが限られている町内循環線の見直しが必要 町内4地区の循環を支援する交通体系の検討 既存交通事業者（JR、ハイヤー等）に配慮した網形成が必要
交通空白地域のない公共交通を維持し、住民交流の活性化を実現	町内全ての交通手段を含む中でのデマンドバスの位置付けの再検討 ⇒ 特に郊外部の交通支援としての位置付けを意識 デマンドバスの予約方式における柔軟な対応 デマンドバスと他の交通手段との連携による移動支援 土曜日診療の移動手段の確保 滞留空間の創出による待合時間の有効利用 利用者の視点に立ったデマンドバス運行事業者への働きかけ
近隣市町村へのアクセスを強化し、流動の活発化を実現	JR路線の維持・確保を補完する交通体系の整理 空港や千歳市への移動を確保するバスによる南千歳までのアクセス強化 交通弱者への情報提供

安平町地域公共交通網形成計画の基本的な考え方と基本方針

以上のような安平町の公共交通の問題・課題を踏まえて、地域公共交通網形成の基本的な考え方と基本方針を以下のように設定することを検討しています。

■基本的な考え方：

鉄路を中心としながら補完する循環系統、デマンドバス等の町内を運行する公共交通の位置付けを明確にし、併せて交通拠点の創出による地域公共交通網の利便性向上と町内の回遊・交流空間を促進する交通体系の構築を目指します。

●基本方針①：地域内循環系統の効率化

●基本方針②：デマンド交通の効率的運行

●基本方針③：利用促進策の検討

●基本方針④：町民協働による意識醸成

安平町地域公共交通網形成計画の施策メニュー

以上の4つの基本方針に基づいた具体的な施策メニューを設定しました。

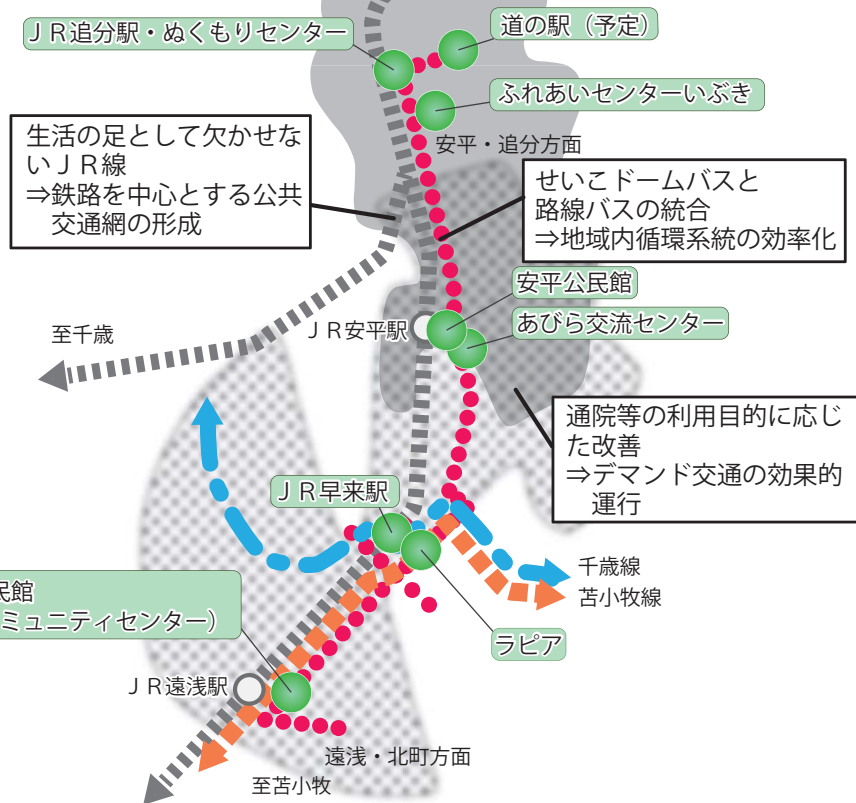
基本方針				施策メニュー
①	②	③	④	
		○		◎ My時刻表、総合時刻表、路線図の作成と提供
			○	◎ 乗継割引・買い物割引の検討
○				◎ 立地予定の道の駅など集客施設への立ち寄り（町内・町外からの回遊・交流促進）
		○	○	◎ 説明機会の創出、個別訪問の実施など、住民対話型による公共交通の検討 ⇒ 遠浅のデマンド一本化、デマンド区域の完全分離など、利用者の少ない地域や効率性に配慮した合意形成に基づく中長期的な検討
			○	◎ 部活動や少年団の利用に向けた働きかけ
			○	◎ ノーマイカーデー、イベントの検討
			○	◎ 高齢者運転への対応として免許返納時の期間限定割引サービスの検討
	○	○		◎ あびらチャンネルによる情報発信 ⇒ 地域に応じたデマンドバスなどの情報発信・デマンドバスの子ども利用に係る情報発信
			○	◎ バス停や拠点の清掃活動など
○				◎ せいこドームバスの利用形態と便数の維持を基本とし、更なる効率化を図る
○				◎ せいこドームバスと町内循環線の統合による新バスの運行 ⇒ 連続する市街地に対する効率的な循環線の検討
○				◎ JRの運行ダイヤに配慮した補完型の循環線の運行 ⇒ JR空白時間帯を基本とする運行
	○			◎ 高齢者への通院支援 ⇒ 土曜日診療への対応検討 (平日の便数を減らして運行曜日を増やすなど中長期的に検討)
	○			◎ 病院の帰り時間の対応 ⇒ デマンドバスの病院の立ち寄り時間の明確化 ⇒ 病院側の診療時間やキャンセル対応の配慮
	○	○		◎ 待合拠点の見直しを含めた町民が利用しやすいデマンドバスの実現 ⇒ 待合拠点（施設）利用に係る情報提供
	○			◎ 町民目線の柔軟な対応 ⇒ 登録や予約に係る対応方針の再検討
	○			◎ JRとの接続性を考慮したデマンドバスの運行
○			○	◎ 新バスと共存によるJRの維持・確保
○			○	◎ 新バスの導入によるコスト縮減から安平町一南千歳間のバスの増便を検討
		○		◎ 増加が見込まれる高齢者のための情報提供

将来の安平町における公共交通像

将来に向けた安平町の公共交通像については、通勤・通学で流動する近隣市町村との関係や安平町内の交通拠点へのアクセスなどを念頭に、町内外を繋ぐ鉄路を中心とした体系を描きました。

なお、バス等は鉄路との接続性や空白時間帯を考慮した公共交通網の形成を目指します。

凡 例		
J R 線		
都市バス	苫小牧線	■■■■■
	千歳線	■■■■■
安平循環線（新バス）		●●●●●
区域デマンド	追分・安平市街地	■
	早来・遠浅市街地	□
地域拠点		●



安平町地域公共交通網形成計画（素案）に関するご意見を募集します（意見募集要項）

今号では、計画素案の概要をご紹介しました。今後は、皆さんからいただいたご意見を踏まえ、地域の公共交通のあり方について協議を行う「安平町地域公共交通会議」などにおいて、さらなる検討や整理を経て成案、計画策定へと作業を進めていきます。

- * 安平町地域公共交通網形成計画の素案全文及び詳細な意見募集要項は、安平町ホームページで閲覧できます。郵送も可能ですので、ご希望の方は担当課までご連絡ください。

担当課 安平町役場（早来庁舎）企画財政課企画グループ
 〒059-1595 安平町早来大町 95 番地
 電話：22-2751 ファクシミリ：22-3006
 電子メール：kikaku@town.abira.lg.jp

- * 意見の提出方法及び場所は、担当課への持参、郵送、ファクシミリ、電子メールのいずれかにより提出してください。ご意見を正確に把握するため、住所・お名前・ご連絡先を必ず記載してください。お電話での意見受付はいたしません。

- * 意見募集の期限は、平成 29 年 2 月 20 日（月）17 時 15 分までとします。意見集約後、寄せられたご意見と町の考え方等については、安平町ホームページ等で公表します。